

ものれ〜る 45号



平成 26 年 2 月 15 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

新 延伸 P R 看板 できました!

昨年秋に行われた国民体育大会の開催 PR のための看板が、モノレール延伸 PR の看板に生まれ変わりました。今回作製した看板では、MM シャトル（市内循環バス）の利用促進も合わせて PR しています。しかし、PR の看板を作り、いくら PR しても、それだけでモノレールの延伸が決まるわけではありません。

では、なぜ P R 看板を作るのでしょうか？ 理由の一つとして・・・

市では、延伸の必要性をアピールすることで、モノレール延伸への市民意識を高め、市と市民とが一体となって早期実現につなげていきたいと考えているからです。また、モノレール延伸の課題の一つであるモノレール（株）の経営安定化のためには、モノレールの利用者を増やし、収入を増やすことが必要です。多くの方にモノレールを利用いただくことが、課題解決にもつながります。

そうだ！
モノレールに乗ろう！



●平成 24 年度作製看板（市役所北玄関前）



★新看板（市役所南玄関前・イオンモール交通プラザ内）

★新看板カバー（新青梅街道沿い、ひまわりガーデン武蔵村山案内看板）



●懸垂幕（市役所市民駐車場内）



●平成 23 年度作製看板（6 枚）



★新看板（三本榎史跡公園内）



★新看板カバー（新青梅街道沿い、ひまわりガーデン武蔵村山案内看板）

お知らせ

モノレールを呼ぼう！市民の会
講演会

沖縄都市モノレール建設を
実現した民間活動から
私たちが今できることは？

2014年2月22日（土）
18:00 開場 / 18:30 開演

場 所：武蔵村山市民会館小ホール
参加費：無料
講 師：沖縄都市モノレール将来構想研究所

 幹事長 前田修司氏

モノレールがいつか来ることを
私たちは心待ちにしています。
でも、「いつか」は「いつ」でしょうか？
私たちができないことはないのでしょうか？
実現に成功した沖縄での取り組みを
これからつなげましょう。
「いつか」を「いつ」といえるように。

主催：モノレールを呼ぼう！市民の会 / 後援：武蔵村山市・武蔵村山市商工会

沖縄は、どうしてモノレールがひけたんだろう？

モノレール延伸のために、私たちができることって何かしら？

会社まで通うのも楽になるかなあ。

商売をしている私にできることは何だろう？

モノレールがあれば、学校に行くのも楽なのにな・・・

モノちゃん募金

募金箱の設置場所が、35か所に増えました。皆さまのご協力をお願いします。

今までは6か所の公共施設だけだった設置場所が、2月1日からコンビニエンスストアなどにも置いていただけるようになりました。モノちゃん募金は、多摩都市モノレール基金に積み立て、延伸実現時に駅前広場の建設費用等に使用させていただく予定です。

1月31日までに集まった募金は、121,659円になりました。

延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い！多摩都市モノレール延伸！！」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。